

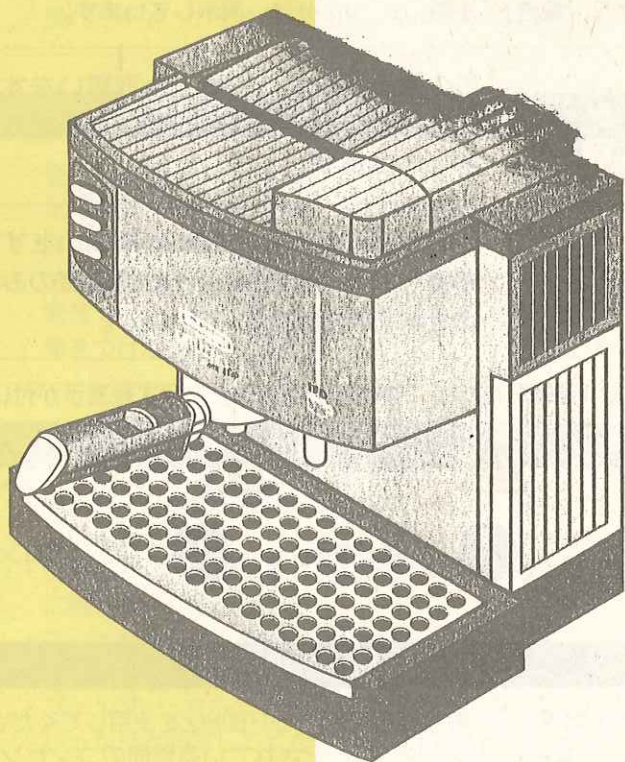
DeLonghi

(伊)デロンギ社製

取扱説明書

エスプレッソ/カプチーノ
メーカー **BAR100**

カプチーノ
ノンストップ



このたびは、エスプレッソ/カプチーノ・メーカー「カプチーノ・ノンストップ」をお求めいただきまして、誠にありがとうございました。製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

も く じ

- ・安全上の注意 1 ~ 3
- ・仕様 3
- ・各部の名称とはたらき 4
- ・エスプレッソの作り方 5 ~ 6
- ・カプチーノの作り方 7
- ・お手入れのしかた 8
- ・アフターサービス 裏面

安全上の注意

- ご使用の前に、必ずこの「安全上の注意」を最後までよくお読みください。
- ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するためのものです。いずれも、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
- 注意事項は、誤った取扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」「注意」の二つに分け、明示しています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示が付いています。



：発火注意



：感電注意



：高温注意



：禁止行為



：分解禁止



：強制／指示



：プラグをコンセントから抜く

電源について



警告

- ・電源は、一般家庭用100V/50・60Hzを使用してください。
- ・電源は、「15A 125V」と記されている壁面のコンセントから直接とってください。



注意

- ・使用中に、ブレーカー（分電盤内の配線遮断器）が落ちる場合は、電力会社にご相談ください。



コンセント、プラグについて



警告

- ・コンセントは、本製品だけ（単独）でご使用ください。
- ・二口コンセントの場合は、片方の差込み口を空けたままでご使用ください。



コンセント、プラグについて

警告

- ・延長コードやタップ、ソケットなどは、使用しないでください。タコ足配線は、お止めください。
- ・プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。また、差し込み口のゆるいコンセントは、使用しないでください。



注意

- ・プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- ・濡れた手で、プラグの抜き差しをしないでください。



電源コードについて

警告

- ・使用中に電源コードおよびプラグが異常に熱くなる場合は、ただちに使用を中止して、お求めの販売店が弊社サービスセンター(裏面参照)にご相談ください。



注意

- ・電源コード／プラグは、無理に曲げたり、物をのせたり、傷をつけないように大切に扱ってください。



使用上について

警告

- ・熱湯および蒸気を使用しますので、ヤケド等に十分に注意してください。
- ・使用中および使用後すぐ、カプチャー・ノズルやフィルターに触れないでください。
- ・コーヒー抽出中は、絶対にフィルター・ホルダーを外さないでください。
- ・フィルター・ホルダーを給湯口に取り付ける際は、正しく、しっかりと固定してください。
- ・空だきに注意してください。使用前および使用中も、給水タンクの水量を必ずチェックしてください。
- ・万一、異常が生じた場合は、直ちにスイッチ・ボタンを切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止してください。



注意

- ・本製品は、コーヒー抽出／給湯、蒸気での泡立て／加熱など、家事専用ですので、屋外や他の用途で使用しないでください。
- ・使用中は、ボイラーがある本体左側面が熱くなりますので、触れないでください。
- ・使用後は、必ずボイラーおよび給水タンク、ミルクタンクを空にしてください。



使用上について

⚠ 注意

- ・使用後は、全てのボタンを切り(=凸状態)、必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- ・水や湿気の多い場所での使用は、お止めください。
- ・近くに小さなお子様がいるときは、注意してください。
- ・犬や猫など、ペットに注意してください。



お手入れについて

⚠ 警告

- ・お手入れをするときは、必ずプラグをコンセントから抜き、本体および各部分が冷えてから行なってください。



⚠ 注意

- ・本体および電源コード／プラグは水洗いしないでください。
- ・クレンザーやベンジン、シンナー、金だわし等は使用しないでください。
- ・自分で分解したり、修理／改造はしないでください。

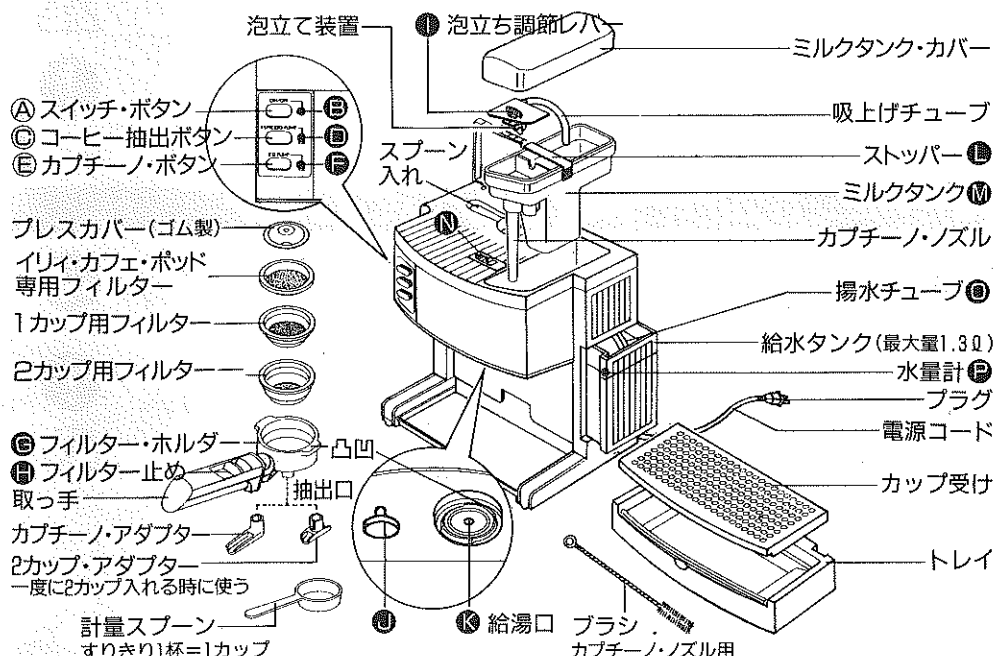


仕様

製品名称／型式番号	カプチーノ・ノンストップ／BAR100
電 圧 / 周 波 数	AC-100V／50・60Hz
消費電力／ポンプ圧	1500W／～15気圧
外形寸法／重さ	幅285×奥行225×高さ330mm／6.0kg(本体のみ)
給水タンクの容量	最大1.3ℓ
ミルクタンクの容量	MAX(最大)250cc
電源コードの長さ	2m
付 属 品	プレス・カバー、フィルター3種、計量スプーン フィルター・ホルダー、2カップ・アダプター カプチーノ・アダプター、ブラシ1本 エスプレッソメーカー用カフェ・ポッド(お試用)

- デロンギ エスプレッソメーカー用カフェ・ポッドのお求めは、販売店または別紙の申込書をご利用ください。

各部の名称とはたらき



① スイッチ・ボタン

凸(=OFF)/凹(=ON)式の電源スイッチ。

② スイッチ・ランプ

スイッチを入れる(ON)と、点灯する。

③ コーヒー抽出ボタン

コーヒーを抽出するときに押す→給湯口から、お湯が出る。

④ 抽出OKランプ

ポイラー内の湯温/圧力が、コーヒー抽出に適した状態になると、点灯する。

⑤ カプチーノ・ボタン

牛乳を泡立てる/温めるときに押す→カプチーノ・ノズルから、泡/温かい牛乳が出る。

⑥ カプチーノOKランプ

泡立ての準備が出来たときに点灯する。

⑦ フィルター・ホルダー

フィルターとコーヒーまたはイリイ・カフェ・ポッドをセットし、給湯口に取り付ける。

⑧ フィルター止め

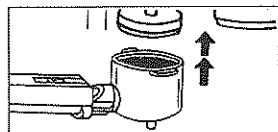
コーヒーかすを捨てる時、フィルターを押さえる。

⑨ 泡立ち調節バー

牛乳の泡立て量を調節する。
☐=泡最大、☐=泡なし
中間にもセットできる。

⑩ プレッサー

フィルターに詰めたコーヒー粉を、押して平にする。



⑪ 給湯口

圧力でお湯が吹き出る。

⑫ ストッパー(スライド式)

泡立て装置を固定する。装置を外す場合は、タンク中頃までスライドする。
※ミルクタンクが本体にある場合は、外れない。

⑬ ミルクタンク

牛乳を入れる。MAX=250cc

⑭ ミルクタンク着脱レバー

ミルクタンクを本体から抜くときは、レバーを左に寄せる。



タンクを本体に戻すときは、カチッというまで押し込む。

⑮ 揚水チューブ(2本)

水をポイラーに吸い上げる。

⑯ 水量計

黄色の浮きが、水量を示す。

初めて使用するときは、必ず**内部洗浄**をしてください。

製品を初めて使用する際は、必ず本体内部のボイラーおよび給湯配管等の洗浄を以下の手順で行なってください。

- ・排水(お湯)を受ける容器を、給湯口およびスチーム・ノズルの下に用意してください。
- ・トレイは浅いので、排水を流さないでください。

【コーヒー抽出機構の洗浄】

- ①給水タンクに水を満杯に入れる
 - ②電源を接続し、スイッチ・ボタンを押す
 - ③コーヒー抽出ボタンを押し(凹)、給湯口からお湯が出てきたら、コーヒー抽出ボタンを押して(凸)止める
 - ④抽出OKランプ点灯後、再度、コーヒー抽出ボタンを押す(凹)
 - ⑤20秒ほどしたら、コーヒー抽出ボタンを押し(凸)、お湯を止める
 - ⑥あとは、④⑤を5～6回繰り返す
- ※給水タンクが空になる前に、水を足す

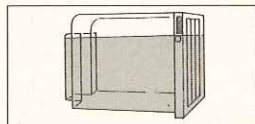
【泡立て機構の洗浄】

- ①ミルクタンクに水をMAXまで入れる
- ②電源を接続し、スイッチ・ボタンを押す
- ③泡立ち調節バーを☐にセットする
- ④カプチーノ・ボタンを押す(凹)
- ⑤ミルクタンクが空になったら、カプチーノ・ボタンを押し(凸)、水を入れる
- ⑥カプチーノOKランプ点灯後、カプチーノ・ボタンを押す(凹)
- ⑦20秒ほどしたら、カプチーノ・ボタンを押し(凸)、お湯を止める
- ⑧あとは、⑥⑦を5～6回繰り返す

エスプレッソの作り方

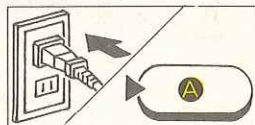
1 タンクに水を入れる

新鮮な水を満タンにして、本体に戻します。この時、必ず揚水チューブ(2本)をタンクに入れてください。



2 電源を接続し、スイッチを入れる

プラグを壁面コンセントに直に差し込み、スイッチ・ボタンを押します。スイッチ・ランプ点灯。

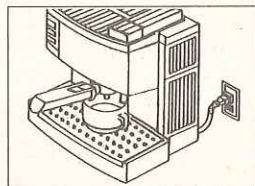


3 カップとフィルターを湯煎する

使用するフィルターをフィルター・ホルダーにセットし、給湯口に取り付けます。→右頁の⑤を参照ください。
カップは、抽出口の下に置いてください。

【湯煎の手順】

- ①抽出OKランプ点灯後、コーヒー抽出ボタンを押す(凹)→給湯口からお湯が出る
 - ②カップが一杯になったら、コーヒー抽出ボタンを押して(凸)、お湯を止める
 - ③給湯口からフィルター・ホルダーを外し、フィルターとカップを水切りする
- ※トレイは浅いので、カップ等のお湯を流さないでください。



4へ続く➤

4 フィルターにコーヒーを詰める

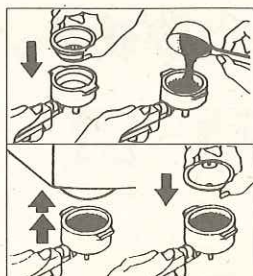
フィルター・ホルダーに湯煎したフィルターをセットし、適量のコーヒー粉(*)を入れます。計量スプーンの底で敷き詰めた後、プレッサーで押して平らにし、プレス・カバーをのせます。※エスプレッソ用に細挽きした豆を使う。

★デロンギ エスプレッソメーカー用カフェ・ポッドを使う場合

フィルター・ホルダーに専用フィルターをセットします。ポッドに裏表はありませんが、紙の端(凸部)を取っ手に向くようにのせ、給湯口に取り付けます。

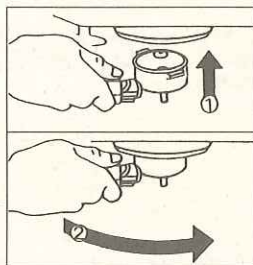
※ポッドは、一度に1個(=1カップ分)しか使えません。

※他社のポッド(類似品)は、使用できません。



5 フィルター・ホルダーを給湯口に取り付ける

フィルター・ホルダーの連結部凸が給湯口の凹に合う様に、取っ手を左側にして、下から押し込みます。次に、取っ手を右に回して、しっかりと固定します。そして、抽出口の下に湯煎したカップを置きます。



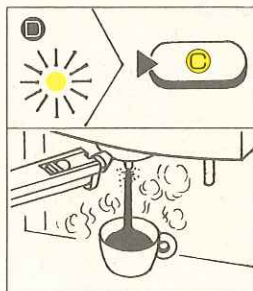
6 コーヒーを抽出する

抽出OKランプが点灯したら、コーヒー抽出ボタンを押します(凹)。適温のお湯が給湯口から吹き出て、コーヒーを抽出します。抽出時間は、20秒前後が適当です。

止めるときは、再度、コーヒー抽出ボタンを押します(凸)。

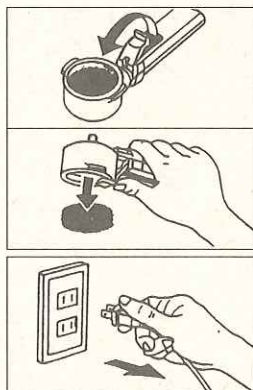
※湯温が下がると、抽出OKランプが消えます。

☞ お好みのテストに近づけるには、1) 粉の量 2) 挽き方 3) フィルターへの詰め具合——を工夫してください。



* 停止する

- ① 抽出後、フィルター・ホルダーを給湯口から外し、フィルター内のコーヒーかすを捨てる。この時、取っ手のフィルター止めを起こし、フィルターを押さえる
- ② 給水タンクの水を捨て、ボイラーの残り湯はコーヒー抽出ボタンで排水する
- ③ 排水後、全てのボタンを切り(凸)、プラグをコンセントから抜く

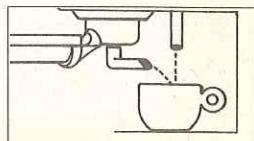


カプチーノの作り方

※先ず、エスプレッソの作り方(前頁)をお読みください。

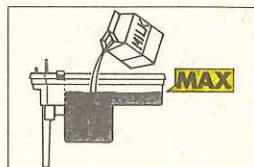
1 ~ 5 エスプレッソの作り方 1 ~ 5 を参照。

フィルター・ホルダーの抽出口に、カプチーノ・アダプターを取り付けます。



6 牛乳をミルクタンクに入れる

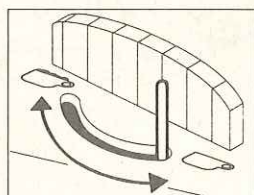
新鮮で冷えた牛乳をミルクタンク(250ccまで)に入れます。カップは、カプチーノ・ノズルおよびカプチーノ・アダプターの下にくるように置きます。



7 泡の量を設定する

泡立ち調節バーを、希望の位置にセットします。

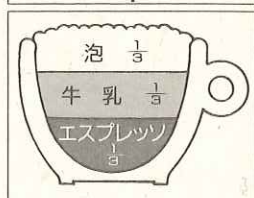
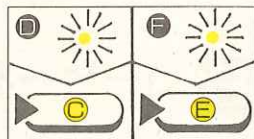
泡の量 {
 ☐: 多い
 ↑ ↓ 中間、作業中も調節可能です。
 ☐: なし (※洗浄する際の位置)



8 コーヒーの抽出／牛乳の泡立て

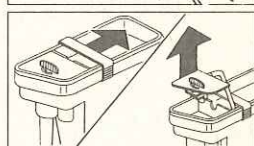
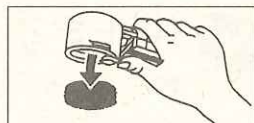
抽出OKランプ、カプチーノOKランプが点灯したら、コーヒー抽出ボタンおよびカプチーノ・ボタンを押します。カプチーノ・アダプターからエスプレッソ、カプチーノ・ノズルからは泡立った牛乳が出てきます。止めるときは、再度、各ボタンを押します(凸)。

☐ 泡立ち調節バーを☐にすると、牛乳がたれません。
 ※エスプレッソおよび泡(牛乳)の量を確認／調整しながら作る場合は、コーヒーと牛乳を別々に入れます。




* 停止する

- ① 抽出後、フィルター・ホルダーを給湯口から外し、フィルター内のコーヒーかすを捨てる。この時、取っ手のフィルター止めを起こし、フィルターを押さえる
- ② ミルクタンクを空にした後、水を入れ、カプチーノ・ボタンを押す→お湯を出し、カプチーノ・ノズルを洗浄する
- ③ 給水タンクの水を捨て、ボイラーの残り湯はコーヒー抽出ボタンで排水する
- ④ 洗浄／排水後、全てのボタンを切り(凸)、プラグをコンセントから抜く
- ミルクタンク／泡立て装置のお手入れ(右頁参照)をする



ホットミルクの作り方

- ①給水タンクに水を入れる
必ず、水(約300cc)を入れてください。
- ②電源を接続し、スイッチを入れる
カップをカプチャー・ノズルの下に置きます。
- ③牛乳をミルクタンクに入れる
新鮮で冷えた牛乳(250ccまで)をミルクタンクに入れます。
- ④泡の量を「なし」に設定する
泡立ち調節バーを  にセットします。

- ⑤カプチャーノOKランプ点灯後、
カプチャー・ボタンを押す
カプチャー・ノズルからホットミルクが出てきます。止めるには、カプチャー・ボタンを押します。
- ※停止／お手入れをする
牛乳の脂肪などでカプチャー・ノズルが詰まる場合がありますので、使用後は、必ずお手入れ(下記参照)をしてください。

お手入れのしかた

- ・お手入れをする際は、必ず電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください。
- ・本体および電源コード／プラグは、絶対に水に漬けないでください。

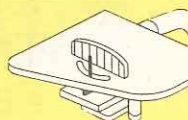
本体、電源コード／プラグ

かたく絞った濡れぶきんでふいてください。ひどい汚れの場合は、台所用中性洗剤をつけた布でふき、次に、絞った濡れぶきんで洗剤をふき取ります。

ミルクタンク、付属品

台所用中性洗剤で水洗いしてください。
ミルクタンクと泡立て装置は、使用後、必ず、お手入れをしてください。

カプチャー・ノズルは
付属のブラシを使い、
通りをよくします。




泡立てノズル(ゴム製)——
※取付けの際、向きを正確に



石 灰 の 除 去

長年使っていると、給湯および蒸気配管などに石灰が付着し、お湯や蒸気の出が悪くなります。使用頻度にもよりますが、1年に1度、石灰の除去を行なってください。

- ①給水タンクの水(満杯=1.3ℓ)に大さじ3杯分の酢を加え、電源を入れる
- ②抽出OKランプが点灯したら、コーヒー抽出ボタンを押す→給湯口からお湯が出る
OKランプ点灯中だけ給湯し、給水タンクが空になるまで行なう
- ③給水タンクに水+酢を入れ、カプチャーノOKランプ点灯後、カプチャー・ボタンを押す→カプチャー・ノズルから蒸気が出る (※泡立ち調節バーは、 位置)
OKランプ点灯中だけ蒸気を出し、給水タンクが空になるまで行なう
- ④給水タンクに真水を入れ、酢のニオイが消えるまで、給湯および蒸気を出す

アフターサービス

- 1)保証期間中(1年)は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。
ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造したものは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。
- 2)使用中に異常が生じたときは、直ちにスイッチを切り、プラグをコンセントから抜きます。
その後、お求めになった販売店が弊社サービスセンター(下記)にご相談ください。
- 3)万一、故障/損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に(1)お求めの時期(2)製品名称と型式番号(3)故障の状況—を連絡のうえ、修理を依頼してください。

☞宅配便などを利用して弊社に返送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージに同封くださるようお願いいたします。

以上、修理、交換品の購入などでご不明の点があれば、お求めの販売店が下記までお問い合わせください。

サービスセンター (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30~18:00)

デロンギ・ジャパン サービスセンター

(受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30~18:00 まで)

●横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内 4号ビル
Tel.0120-804-280 / Fax.045-450-3291

●大阪：〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-21-25
Tel.0120-692-880 / Fax.06-6368-2881

ビル

Fax.06-263-7489

●真心点検について —



お買い上げから2~3年経ちましたら、支障があるなしに関わらず、安全のために専門技術者による点検(持込み)をおすすめします。点検の依頼方法、料金等につきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

●購入年月日を記入してください。真心点検の目安になります。

購入年月日：平成 年 月 日



Printed on Recycled Paper

再生紙を使用しています。

DeLonghi

デロンギ・ジャパン株式会社

本社：〒101 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル TEL.03-5256-6321(代)
大阪支店：〒541 大阪市中央区備後町3-3-15 ニュー備後町ビル TEL.06-263-6116(代)